- 〇 大学入学共通テスト 速報
- 共通テストチャレンジ
- ○「自由な時間」「休み」をどう過ごすか

# 新宿通信 NO.61

## わが青春 わだかまりの記

英語科 杉山 学

今回、新宿通信に、私が高校生だったころの思い出を書いてみようと思います。

私の高校生活は、挫折に満ちたものでした。今思えば、小さなことなのですが、15歳当時は深刻でした。

静岡の海に近い町で育った私は、中学生までは非常に充実し、自信に満ち溢れた毎日を送っていました。成績 優秀、バスケも選抜に入ったり、レギュラーであったり、生徒会長も務めたりして、調子に乗っていました。

日常が大きく変わったのは、高校に入学後です。地域のトップが集まってくる環境に、ついていけなかったのです。多くをあきらめてしまいました。

まず数学に挫折しました。力が及ばなかったのではなく、単に自分の努力不足だったのですが、数学の能力が 先天的にないことにして、理系の道をあきらめました。医学部志望だったのに。丁寧に教えてくれた数学の先生 には非常に申し訳ないです。

人間関係にも挫折しました。中学までリーダーのようにふるまっていたものの、魅力的な人間が集まる環境で、 卑屈になりました。勉強はできない、魅力もない、コンプレックスの塊になり、満たされず、少人数で固まるようになってしまいました。

最大の挫折は、バスケットボールから逃げてしまったことです。体育館ではそれなりに活躍できたものの、毎週課せられるランニング (10 キロ)、これに負けてバスケ部を辞めました。毎回最下位の屈辱と辛さに負け、チームから逃げました。最後まで引き留めてくれたキャプテン安田君に申し訳ないです。そんな彼は今、体育教師になっています。

勉強も、部活も、仲間と盛り上がることもない。私を救ってくれたのは、"アメリカン・カルチャー"でした。家にあったアクション映画を見て、"アメリカ"の世界に感化されたのです。 $80\sim90$ 年代の映画は魅力に満ち溢れていました。ヒーロー、ファッション、セリフ。魅力に取りつかれました。洋楽にもはまり、パンク、HIPHOPに傾倒し、雑誌を読み漁りました。町に一軒しかないレコード店で音源を集め、DJの真似ごとをしたり、小遣いを貯めては東京へ行き、渋谷・原宿を地図片手にショップ巡りをしたりしました。

こうしているうちに、世界とつながるために英語が必要だと気が付きました。英語を学びたい、地元から離れ東京に出たい、異様なモチベーションがありました。それが高校2年の冬。とにかく勉強しました。先生へ質問に通いました。生活が変わり、授業が分かるようになりました。目標を持った人間は強く映ったのでしょうか、周囲の目も変わってきました。でも仲間と勉強することはできなかったですね。周りはすべて敵、孤独に戦うアクションスターのように思ったのか、ストイックな自分に酔っていました。深夜ラジオと洋楽が仲間でした。動機と目標の力は大きく、そのまま都内の大学に合格し、早々に引っ越し憧れの生活を始めました。

大学で行った初海外は結局アメリカではなくインドになりました。アメリカはそのあと。反動からハジけ、色んなことがあった5年間の大学時代はまたいつか。

紆余曲折あり、教師になりました。今まで何校か勤務し色々な生徒の挫折や苦悩を見てきました。

思うように成績が伸びずにいる生徒。周囲の環境になじめず、ぼんやりと過ごしている生徒。部活を辞めようと苦悩する生徒。すべてが順調とはいかないのが高校生活です。生徒の姿に、"わかるよ、その気持ち。俺もそう

だったから。" と、心の中で思っています。自分が思い通りにいかなかった分、高校生活の価値は人一倍感じるのです。

20年以上経った今、いい思い出のない母校を愛しているし、感謝しています。あれほど出たかった地元、沼津の男であることを誇りにしています。高校生活の挫折が自分を作ってくれたからです。

自分を虜にした英語の世界を伝え、青春する高校生を間近で見ることのできる教師という仕事は、私にとって本当に贅沢な職業です。新宿生の皆さん、大いに挑戦し、悩み、失敗し、挫折してください。逃げてもいいです。すべては皆さんの未来につながっています。くじけることなく、頑張ってください。ほんの少しでもその手助けができたら、幸いです。

#### □ 大学入学共通テスト 速報

1月16・17日の2日間にわたって大学入学共通テストが実施されました。今年度は、新型コロナウィルス感染拡大の影響から、当日までの健康観察や、当日のマスクの着用など、受験生にもさまざまな対応が求められました。例年よりも早くから自宅学習期間を設けた中で、3年生はよく頑張りました。毎朝登校し、夕方まで自習室で勉強する3年生も数多くおり、とても立派でした。

#### 本校の概況を報告します。

大学入試センターによる平均点の中間集計が20日に発表されました。最終発表は2月18日です。今後、得点調整の有無が発表されます。また、河合塾と駿台・ベネッセからセンターリサーチの集計に基づく合格目標ラインがネット上で発表になります。さらに、受験生個人に合否判定予想を記した個人票が返却されます。これらをもとに国公立大学2次試験の出願を行ってください。

2次の出願は1月25日から2月5日に行います。前期日程だけではなく後期日程の出願もこの時に行います。前期日程が不合格になってから後期日程に出願するのではありませんので、くれぐれも注意してください。

教科	科目	新宿	中間集計
国語	国語	147.1	116.05
数学	数 I·A	70.9	59.20
	数Ⅱ·B	74.1	62.85
英語	リーディング	80.1	60.35
	リスニング	72.5	57.23
地歴	世史B	81.9	65.79
	日史B	77.9	66.06
	地理B	65.8	62.52
公民	倫理	84.5	71.76
	政経	63.0	51.32
	現代社会	69.7	54.34
	倫理·政経	72.7	69.18
理科	物理基礎	40.1	38.12
	化学基礎	31.2	25.60
	生物基礎	36.1	30.17
	地学基礎	31.8	34.71
	物理	69.4	58.89
	化学	61.0	52.80
	生物	85.8	73.14
	地学	なし	47.06
文系 5/6-9	900 満点	665.5	
理系 5- 8	900 満点	643.9	-

#### ○共通テストチャレンジ

1月20日(水)に、1・2年生は共通テストチャレンジを実施しました。今年の大学入学共通テストの問題を、1、2年生でも解いてみようという試験です。目的は、現在の自分の学力が目標とする受験問題レベルに対してどのくらい定着しているのかを把握するため、また、1年後、あるいは2年後にむけてモチベーションアップをはかるためです。1、2年生でも、現在の学習で培った力で解ける問題はありますが、もちろん、今の時点で簡単に解けるわけはありません。得点にこだわるのではなく、試験問題や解く時間を実際に体感し、結果を分析し、弱点を自覚して今から対策を講じておくことが大切です。

振り返りのために、チェックポイントを簡単に紹介します。これは、ふだん受験している模擬試験や、定期考査でも同じことです。

○時間内に全間解き終わったか。解き終わらなかった場合は、どの問題に時間がかかったか。あとどのくらい必要だったか。

○既習範囲からの出題、解ける問題が確実に得点できたか。

○マークミスや、焦っての解答ミスはなかったか。

○解けなかった問題は、なぜできなかったのか。 既習 範囲ではなかったのか、 思考力、 判断力、 表現力の 不足だったのか。 どうすれば解けたのか。

受験後によく復習し、解けなかった箇所はその都 度問いへの着眼点や考え方、解読のプロセスや論 述のし方を見直していくように、ミスしてしまった箇所 は反省点として、同じ間違いをしないのは当然、同 様の問題への応用力をつけ、基礎固めをするように 心がけましょう。

大学入学共通テストだけでなく、各大学の受験の傾向としても、今後もますます知識だけでなく思考力や表現力をはかる問題が増えていきます。対策としては、まずは知識の確実な定着ですが、そこに留まらずもう一歩先を考える学習を心がけましょう。また、日ごろから「書く」ことを心がけましょう。自分の言葉を使って文章を書く作業を通し、思考は深まっていくものです。

#### 〇「自由な時間」「休み」をどう過ごすか

東京都では、依然として新型コロナウィルス感染拡大が続いています。それにあたって、本校でも緊急事態宣言解除まで部活動を全面禁止としました。部活動に邁進し、大会等の発表の場に向けて努力をしてきた人にとっては、授業が終わったらすぐに帰宅する、所在ない1月だったかもしれません。さらに、1月21日からは各学年でも分散しての登校となりました。急な生活の制限によって、それぞれが大変な不安や、先の見えないもどかしさの中にいることと思います。皆さんの生活はどのように変わったでしょうか。意識して「変える」ことができたでしょうか。

1月と2月はそれぞれ下旬に都立高校の入学試験があり、試験の当日や直後の採点日、在校生は自宅学習になります。土日もあって、かなり長い休みになります。

通常の学校生活や行動が制限されている中ですが、この自由な時間をどう過ごすか、ぜひ考えてみてください。

2年生は3年0学期が始まりました。2年生というより も、「3年生の助走期間」に入っています。大学入試 共通テストまで、あと1年を切りました。この助走期間 を、1年後に「あの時に頑張っておいてよかった」と思 えるような、基礎定着の期間とするのか、それとも「あ の時にもっと頑張ればよかった」と無駄にしてしまうの か、自身の行動次第です!

#### 【今後の予定】

○都立推薦入試 1/26 火・27 水

※分散登校・オンライン授業によって、大幅な予定 の変更があります。別途お知らせしていきますの で、確認してください。

次の「先輩方の言葉」は、新宿高等学校同窓会である「朝陽会」の方々のご協力で、毎号卒業生からご寄稿をいただいています。社会で活躍される皆さんの先輩方の貴重なメッセージです。

# 「未来のリハーサル」をしよう!

(株)スカイフォール代表取締役 アニメプロデューサー

## 26回生 植田 益朗

幼い頃は自分の行く道を選択する事が出来ない、親も選べなければ、保育園、小学校、中学校と大体決まった流れで生きてきた。皆も大体そうであろう。そしてようやく高校受験になり、限りあるなか目指した(選択した)のが新宿高校だった。我が学校群世代は、50%の確率だが、受かるとしたら新宿高校だろうと確信し、そしてその通りになった。

小中の学校生活で、勉強嫌いの自分を変えた先生(教師)の存在の大きさに惹かれ、漠然と自分も将来は教師と思っていたが、高校に入学ししばらくするとその思いは遥か彼方に飛んでいった。教職より学校-教育行政という大きな仕組みへの疑問が出てきてしまったからだ。だが、母校の教師の皆様は個性的で魅力的であったことは記しておく。

選択し入った高校だったが、結局高校時代は、家庭一学校一社会という現実に揉まれながら新たな夢探し、自分探しへの道のりであった。

中々見えない未来に、幼いころの文集の「将来の夢」など辿ってみたが、書いていた本人が本気じゃなかったなと思いだす始末。高校を卒業してすぐ働こうと思った時期もあったがそれも挫折した。

選択の出来ない時から、行先をどうしようと悩むのも青春というのは簡単だが。一応そこで考えた、短い人生の中で自分は何を楽しんでいたんだろう?と振り返る。小学校での遊び場「ウルトラマン」の円谷プロ、「ゴジラ」の東宝撮影所での特撮体験があった、「おそ松くん」の赤塚不二夫や「サイボーグ 009」の石ノ森章太郎の漫画があった、中学校文化祭での芝居の演出・役者に非日常の楽しみを知り、そして高校を抜け出し歌舞伎町で観ていた映画への感動。余談だが、幼いころ両親に連れられ妹弟と新宿で映画を観て「かつ亭」でとんかつを食べて帰るのが楽しみだったことも懐かしい。

その後大学受験で日大芸術学部映画学科を選択したのは、親の職場である日大系列、格安な入学金と学費、好きな映画を学ぶという、3点セットが揃っていたからだった。今思えばそんなに積極的な選択では無かったが、やはり好きなことを学ぶというのは結果良い選択だったのだろう。

しかし、大学の座学に堪えられない自分は、大学をさぼり映画の撮影現場に働きに行く。

映画というものは摩訶不思議な魅力を持ち、その現場も独特の雰囲気と魔力を持つ、架空の物を作るという苦しいけど楽しい世界にはまり、それはその後もずっと自分の中に消えない炎として残っている。

偶然入ったアニメ制作スタジオ「日本サンライズ」、偶然担当したアニメ作品「機動戦士ガンダム」。劇場化され「機動戦士ガンダムⅢ~めぐりあい宇宙~」で27歳初プロデューサーの肩書を得て大ヒット、20年その会社にいて、ようやく会社を離脱する大選択をしたが、またその後20年結局アニメから逃れられず、結果40年間アニメ業界にづっぽり嵌ってしまった。現場の一番下っ端の制作進行から、アニメ製作メーカーの社長まで務め立身出世だねという者もいるが、現場の仕事以外はやはり今一つ楽しくなかった。

皆さんに選択肢はいつでも、いくらでもあるはずだ、とにかく自分の好きなこと選択するのが人生を楽しむ最大の生き方なんじゃないだろうか。

自分の敬愛する世界的インダストリアル・デザイナーの故シド・ミード氏は言う。

「自分の仕事は『未来のリハーサル』である。自分の思う明るい未来を今描きとめているのだ」と。自分もまた新たに現場に立ち「未来のリハーサル」をやろう。

100 歳までアニメプロデューサーでいたいと思う(笑)皆さんも是非自分の明るい「未来のリハーサル」をやってください。